



ホメオパシーhom eopathy

ホメオパシーとは？

18世紀末にドイツの医師サミュエル・ハーネマンによって体系づけられた医療です。
ホメオパシーは日本語では“同種療法”あるいは“同類療法”と訳されることがあります。

「症状をおこすものは、その症状を取り去るものになる」
という同種の法則が根本の原理となっています。
ホメオパシーでは症状を抑えるのではなく、症状を出しきれるように後押しし、
ひとつの中の自然治癒力に働きかけます

海外におけるホメオパシー

ヨーロッパ、特にベルギー、フランス、イタリアではホメオパシーが多く用いられており、
ホメオパシーで処方されるレメディはほとんどの国で医薬品として認可されています。
またイギリスでは1948年に国民健康保険に取り入れられています。

ホメオパシーのレメディ(治療薬)とは？

3000以上あるレメディは以下のものから作られています
植物(約70%)、鉱物(金・銀・マグネシウムなど)、動物(イカ・ヘビなど)。
これらを原料とし、「希釈」と「振盪(激しく振る)」を繰り返して、小さな砂糖の
玉にしみこませたものをレメディといいます。
薄めれば薄めるほどそのポテンシー(治療効果・エネルギー)は高まります。
現在よく使われる30cのレメディは100倍希釈を30回繰り返したものです

ホメオパシーのレメディ処方へのプロセス

急性疾患の場合：症状を把握し、その病因や病態にあったレメディを処方します
慢性疾患の場合：通常行う病歴のほかに、家族構成・家族仲・身体の冷え・食べ物の
好き嫌い・のどの渇き・性格・体質などについての細かい問診を
を行い、その人の状態に合ったレメディを処方します。

ホメオパシー外来 自由診療 完全予約制

診察料	初診4500円 再診3000円
処方料	1000円

